令和５年度　公益社団法人大気環境学会　事業報告

（令和５年７月１日～令和６年６月 30 日）

1. 会員の状況

種　別	令和５年６月 30 日	令和６年６月 30 日	差引増減（△）
正 会 員	703 名	670 名	△33 名
法人会員 A	112 団体	105 団体	△7 団体
法人会員 B	47 団体	49 団体	2 団体
学生会員	108 名	108 名	–
賛助会員	15 団体（16 口）	15 団体（16 口）	–

正会員数は、令和４年度は 18 名の減少であったが、令和５年度は 33 名の減少となった。

学生会員は、令和４年度は 29 名の増加であったが、令和５年度は増減がなかった。

法人会員 A は、令和４年度は４団体の減少であったが、令和５年度は７団体の減少となった。

法人会員 B は、令和４年度は２団体の減少であったが、令和５年度は２団体の増加となった。

賛助会員は、令和４年度は１団体(1 口)の減少であったが、令和５年度は増減がなかった。

2. 年会報告

第 64 回大気環境学会年会を、国立研究開発法人産業技術総合研究所つくば中央共用講堂（茨城県つくば市）にて、令和５年９月 13 日（水）-15 日（金）に開催した。Peatix を活用した事前振込の実施により現地での現金取扱いを廃止、また外部委託を機器展示・受付・印刷物および看板制作・ポスター会場設営のみに限定するなど、本部年会委員会と現地実行委員会が連携して、効率的な年会運営を行った。参加者は 401 名であり、内訳は正会員 219 名、学生会員 85 名、法人会員 A8 名、法人会員 B16 名、賛助会員 23 名、名誉会員３名、非会員 46 名であった。研究発表の件数は 219 件（一般研究口頭発表 101 件、ポスター発表 118 件）であった。さらに、学会賞受賞講演２件、特別集会３件（講演 15 件）、分科会６件（講演 18 件）が行われた。環境機器展では、ブース展示 12 件（13 ブース）とカタログ展示４件の参加があった。プログラム集への広告掲載は 11 件であった。ホームページへのバナー掲載は ４件であった。出展企業による技術セミナーは １日目に２会場と２日目に１会場で開催し、合わせて６件の発表が行われた。ご協力いただいた企業・団体の皆様に、心より感謝の意を表する。

3. 総会開催

令和５年９月 14 日に国立研究開発法人 産業技術総合研究所 つくばセンター 共用講堂で令和５年度定時総会を開催した。審議及び報告事項は以下の通りである。

１）令和４年度事業報告、収支決算報告及び監査報告

米持真一常任理事より令和 4 年度事業報告があり、中井里史常任理事より令和 4 年度収支決算報告があり、大原利眞監事より監査報告がなされた。議長より質疑を求めた後、これらの報告を全員一致で決議した。

2）令和 5 年度事業計画及び収支予算について

米持真一常任理事より令和 5 年度事業計画が報告され、中井里史常任理事より令和 5 年度収支予算の説明がなされた。事業計画及び収支予算については、定款第 35 条により、事業年度開始前に理事会を開催し、既に承認されているため、本総会では事後報告であった。

3) 名誉会員の推戴

伊豆田猛会長より、吉門洋会員、太田幸雄会員、石井康一郎会員、北田敏廣会員、福崎紀夫会員を名誉会員に推戴する旨の報告があり、承認された。

4) 第65回及び第66回大気環境学会年会開催地

第65回大気環境学会年会を令和6年9月11～13日に慶應義塾大学日吉キャンパスを主会場とし、年会長を奥田知明会員（慶應義塾大学）として開催する予定であることが報告され、承認された。第66回大気環境学会年会は、年会委員会で年会長および開催地等を検討中であることが報告され、承認された。

4. 理事会等開催

4.1. 理事会

１）定例の会議の開催

第 1 回：令和 5 年 8 月 16 日（国際文献社を基地局とした Web 開催）

審議内容：令和 4 年度事業報告、収支決算、監査結果、定時総会(令和 5 年 9 月 14 日)の案内、入退会希望者、「大気環境未来 60」応募事業、名誉会員の推戴、第 64 回年会の準備状況報告、等

第 2 回：令和 5 年 9 月 12 日（産業技術総合研究所　中央事業所 共用講堂小会議室）

審議内容：入退会者承認、令和 5 年度年会総会・定時総会について、等

第 3 回：令和 6 年 2 月 27 日　メール審議によるみなし決議（法人法第 96 条”理事会の決議の省略”適用）

審議内容：入退会希望者の承認、会長・副会長及び常任理事の職務執行状況の報告、第 65 回年会の開催準備状況、第 66 回年会の開催準備状況、理事候補者・監事候補者の選挙、等

第 4 回：令和 6 年 4 月 19 日　メール審議によるみなし決議（法人法第 96 条”理事会の決議の省略”適用）

審議内容：大気環境学会の免税事業者から課税事業者への移行

第 5 回：令和 6 年 6 月 21 日（国際文献社を基地局とした Web 開催）

審議内容：令和 6 年度事業計画・収支予算・資金調達及び設備投資見込、令和 6 年度定時総会の開催方法と総会議案、役員選挙、学会賞選考状況、論文賞選考結果、名誉会員推戴、業務遂行状況報告、各委員会報告、入退会報告、課税事業者への移行等

２）令和 4 年度事業報告及び収支決算の承認（第 1 回理事会）

原案の通り、承認された。

３）令和 5 年度事業計画及び収支予算の承認（第 5 回理事会）

原案の通り、承認された。この結果を受け令和 6 年 6 月３０日に内閣府に事業計画書等を提出した。また、学会ホームページに掲載した。

４）名誉会員の推戴について（第 5 回理事会）

原案の通り、承認された。

4.2 常任理事会

１）定例の会議の開催

第１回：令和５年８月７日、第２回：令和５年 11 月 20 日、第３回：令和６年３月 19 日、第４回：令和６年５月 30 日（いずれも国際文献社を基地局とした Web 開催）。その他、適宜メール等により、必要事項を協議した。

5. 支部長会：（全体）

令和５年９月 12 日（国立研究開発法人産業技術総合研究所）

支部活動の現状と課題、本部への要望・提言等について協議した。

6. 出版等

１）大気環境学会誌

第 58 巻４号～第 59 巻３号の計６号（電子ジャーナル）を刊行した。これに加え、第 58 巻１号～６号をまとめた POD 版（冊子体）を２月に発刊し、法人会員と賛助会員に配付した。

２）第 64 回大気環境学会年会講演要旨集を刊行（年会事務局）した。

３）日中韓大気環境学会合同英文誌 AJAE （Asian Journal of Atmospheric Environment）を発行した。
令和５年からは出版社を Springer に移行しており同社 Web にて随時公開中となっている。令和５年度は Vol. 17 Article number 12–18、Vol.18 Article number 1–9 を公開した。

7. 委員会開催

7.1. 倫理委員会

特に検討が必要な事項はなかったため、令和4年度は倫理委員会を開催しなかった。

7.2. 国際交流委員会

韓国大気環境学会主催による日中韓共同ワークショップ「For a better understanding of air pollution in East Asia (3rd)」が、令和５年 10 月 25 日、韓国プサンにて開催され、大気環境学会からは副会長１名、国際交流委員２名が参加し講演を行った。韓国大気環境学会から２件、中国環境科学学会大気分会から１ 件の講演がなされた。参加者約 50 名。

7.3. 学会賞選考委員会

令和６年５月 31 日を締切として、令和６年度の大気環境学会賞の公募を行なったが、推薦がなかったため、公募期間を６月 17 日まで延長した。その後、学会賞選考委員会（令和６年６月 18 日、Web 会議）を開催し、学術賞の選考を行い、選考結果を常任理事会に報告した。

7.4. 編集委員会（編集実務委員会）

１）定例の会議の開催

定例の会議を開催して学会誌の編集企画を行い、計６号（第58巻第４号～第59巻第３号）を刊行した。また、適宜メール審議により必要事項を協議した。

第１回：令和5年9月26日、第２回：令和5年12月7日、第３回：令和6年2月2日、
第４回：令和6年4月1日、第５回：令和6年6月3日

２）論文審査

令和5年に投稿のあった論文等について、掲載可否の審査を行った。

３）入門講座等の企画・掲載

入門講座を企画、掲載した。また、あおぞら、支部・分科会だより、研究室紹介を掲載した。

４）その他

入門講座および解説のダウンロード販売を行った。

7.5. 論文賞選考委員会

令和5年に出版されたすべての原著論文（2報）と技術調査報告（4報）、及びAJAE誌への掲載論文(6編)について主査1名、副査3名により評価を行った。その結果を受け論文賞選考委員会（令和6年5月30日）を開催し、授賞候補を常任理事会に報告した。

7.6. 広報委員会

研究成果の社会還元のための広報活動、会員増強のための広報活動、次世代研究者確保のための広報活動、関連他学会との連携と差別化等の具体化に向けて検討を行った。また、日本学術会議傘下の環境工学連合小委員会委員主催講演会に講師を派遣した。大気中マイクロプラスチック研究に関する世界的関心の高まりから、企画運営委員会、産官学民連絡評議会、エアロゾル学会傘下の大気中マイクロおよびナノプラスチック研究会と連携して、東南アジア研究者６名を招聘してワークショップを開催した。

7.7. 企画運営委員会・産官学民連絡協議会

大気中マイクロプラスチック研究に関する世界的関心の高まりから、広報委員会、エアロゾル学会傘下の大気中マイクロおよびナノプラスチック研究会と連携して、東南アジア研究者6名を招聘してワークショップを開催した。

7.8. AJAE 委員会

韓国大気環境学会と協力して AJAE（Asian Journal of Atmospheric Environment）を発行した。令和 5 年からは出版社を Springer に移行しており、同社 Web にて随時公開中となっている。

7.9.「大気環境未来 60」募金委員会

令和 6 年 7 月 1 日を締切として、令和 6 年度の「大気環境未来 60」募金を活用した事業公募を行った。ホームページへの掲載、会員への一斉メール等で周知をはかった結果、募集期間中に 4 件の応募があった。

7.10. 年会委員会

第 64 回大気環境学会年会の準備および運営と第 65 回年会の事前準備を実施した。具体的には、年会委員会として第 64 回大気環境学会年会実行委員会および同年会に出席した(令和 5 年 7 月 6 日、7 月 7 日、8 月 1 日、9 月 12 日、9 月 13 日、9 月 14 日、9 月 15 日、10 月 27 日、11 月 10 日)。また、第 65 回大気環境学会年会実行委員会に出席した（令和 5 年 11 月 28 日、12 月 6 日、12 月 12 日、12 月 14 日、12 月 25 日、令和 6 年 2 月 15 日、3 月 21 日、3 月 22 日、3 月 29 日、4 月 2 日、4 月 11 日、4 月 12 日、4 月 30 日)。

7.11. 地方環境研究所等委員会

令和 5 年 10 月 31 日、「水・大気環境連携セミナー　－地域環境研究の未来に向けて－」を日本水環境学会

と共同で開催した。オンライン（Zoom ウェビナー）参加者 350 名。

8. 支部報告

8.1. 北海道・東北支部

１）支部総会、幹事会：令和 5 年 10 月 27 日（金）12：00～13：15(やまぎん県民ホール・Web 開催と対面開催の併用)

①支部総会：令和 4 年度支部活動報告及び決算報告、令和 5 年度の活動方針と予算案の承認。次回支部総会の開催地の決定（参加者 16 名、委任 13 名）

②幹事会：次回支部総会の開催地（案）の決定（参加者 9 名）。

③研究発表会（総会と同会場、Web 同時開催）

口頭発表 10 件、「積雪寒冷地における雪および冬の変化に関する気候変動影響の分類と適応策」ほか、（参加者 36 名）

8.2. 関東支部

１）支部総会：令和 6 年 5 月 24 日 12：30～12：50 (日本環境衛生センター東京事務所・Web 同時開催)

２）議事：令和 5 年度支部・部会活動報告、令和 5 年度中間会計報告、令和 6 年度活動計画案、令和 6 年度予算案、参加者 150 名（委任状 108 名）

３）支部講演会：令和 6 年 5 月 24 日（総会と同会場、Web 同時開催）

テーマ：「光化学オキシダントの低減のために～VOC 排出に着目した最近の取組～」、講演 4 件、参加者 83 名

４）部会活動報告（順不同）

①大気沈着部会

講演会「第 35 回酸性雨東京講演会（共催：酸性雨分科会）」の開催（令和 6 年 6 月 11 日：Web 開催）、テーマ：「酸性雨問題の転換－窒素負荷の今後について考える」、講演 1 件

②粒子状物質部会

講演会（共催：関東地方大気環境対策推進連絡会微小粒子状物質調査会議）の開催（令和 6 年 3 月 18 日：Web 開催）、講演 4 件

③植物影響部会

講演会（共催：植物分科会）の開催（令和 5 年 12 月 11 日：Web 開催）。演題：「1. Biogenic volatile organic compound emission from vegetation（植物における生物起源揮発性有機化合物放出）」ほか、講演 2 件

④科学コミュニケーション部会

講演会「大気環境常時監視データはまだまだ活用できる」「モニタリング：これまでとこれから」（令和 6 年 6 月 7 日：Web 開催）講演 2 件

8.3. 中部支部

１）評議員会：令和 6 年 6 月 20 日～6 月 24 日（メール審議）

議題：令和 5 年度中部支部総会へ提出する議題・資料について

２）支部総会：令和 6 年 6 月 29 日（Web 開催、委任状含めて参加者 25 名）

議題：令和４年度の事業報告・決算報告・会計監査の報告、令和５年度事業経過報告、令和５年度決算見込みについて、令和６年度事業計画（案）・予算（案）、その他

8.4. 近畿支部

１）支部総会・シンポジウム：令和５年８月４日（大阪健康安全基盤研究所 OIPH ホール・対面開催）
令和４年度事業報告ならびに収支決算報告、令和４年度委員会・部会活動報告、令和５年度事業計画ならびに予算案の承認

２）シンポジウム：「光化学オキシダント －古くて新しい大気汚染の課題－」、講演３件「オゾン生成機構における未把握反応経路の HOx 反応性測定に基づく評価」、「長期排出インベントリ・大気質シミュレーション・大気観測データに基づくオゾン濃度低減対策効果の評価」、「植物に対するオゾンの影響」（参加者 33 名）

3）理事会・運営幹事会：令和５年８月４日（第１回、大阪健康安全基盤研究所 OIPH ホール・対面開催）、令和６年２月 27 日（第２回、紀本電子工業(株) KE ホール・対面開催）

4）委員会・部会活動

①学術委員会：大気環境学会近畿支部研究発表会(第 12 回)、令和５年 12 月 26 日（大阪健康安全基盤研究所 OIPH ホール）、一般発表 14 件、特別講演１件、参加者 48 名

②情報・広報委員会：大気環境学会近畿支部ホームページの運営

③気象拡散部会：講演会「大気拡散研究の現状と展望」、令和６年６月 12 日（大阪公大 I-site なんば・対面開催）講演３件、参加者：25 名

④反応と測定部会・植物影響部会・エアロゾル部会・合同講演会「植物起源揮発性有機化合物（BVOC）の大気への放出とその後」、令和６年６月３日（大阪公立大学 I-site なんば・Web 同時開催）、講演３件、参加者 68 名

⑤人体影響部会：講演「近年喘息症状の原因とされている気道粘液について－MUC5AC と大気汚染物質や COVID-19 の関係－」「NO2 規制における HONO の関与の可能性－生体影響の観点から－」「NO2 規制における HONO の関与について－測定の観点から－」令和６年３月１日（Web 同時開催）、講演３件、参加者 37 名

8.5. 中国・四国支部

１）支部役員会：令和６年５月 26 日（Web 開催）
令和 4～5 年度支部役員・令和５年度事業報告・収支決算報告及び令和６年度事業計画・予算計画について

２）支部総会：令和６年５月 27 日（月）～6 月３日（月）（支部ホームページに資料掲載）
令和 4～5 年度支部役員・令和５年度事業報告・収支決算報告及び令和６年度事業計画・予算計画について

３）支部ニュースレター
令和５年７月～令和６年６月に 11 回配信

8.6. 九州支部

１）支部総会：令和６年３月８日（アクロス福岡 607 会議室）
議事：令和 4 年度事業実施報告及び収支決算報告、令和 5 年度事業計画及び予算、九州支部発表会における「学生・若手研究者賞」(仮称)の新設

２）支部役員会：令和６年３月８日（アクロス福岡 607 会議室）

議事：令和４年度事業実施報告及び収支決算報告、令和５年度事業計画及び予算、九州支部発表会おける「学生・若手研究者賞」(仮称)の新設

３）支部研究発表会：令和６年３月８日（アクロス福岡 607 会議室）

室内環境学会九州支部と合同で開催。演題７件（大気環境５件、室内環境２件）

9. 分科会等報告

9.1. 植物分科会

１）年会分科会：令和５年９月 13 日（Web 開催と対面開催の併用）

２）講演会の開催（関東支部植物影響部会との共催）：令和５年９月 13 日（Web 開催）

テーマ：「植物における生物起源揮発性有機化合物放出」ほか、講演２件

9.2. 大気環境モデリング分科会

１）講演会（主催）：令和５年９月 13 日（第 64 回大気環境学会年会、Web ハイブリッド開催）

テーマ「分科会交流から考える大気環境問題の予報・予測」講演３件　参加者 65 名

２）研究集会「第７回アジア域の化学輸送モデルの現状と今後の展開に関する研究集会」：

令和６年３月 14 日～15 日（Web 開催と対面開催の併用）（主催：九州大学応用力学研究所全国共同利用研究集会）。発表 14 件、参加者 35 名

9.3. 酸性雨分科会

１）年会分科会：令和5年９月13日（Web ハイブリッド開催）

テーマ：「光化学オキシダントなどの大気汚染物質の動態やその生態影響」、講演3件、参加者50名

２)第35回酸性雨東京講演会（関東支部大気沈着部会、酸性雨研究会との共催）：令和6年６月11日（Web開催）、テーマ：「酸性雨問題の転換：窒素負荷の今後について考える」、講演1件

② 酸性雨関西講演会：令和6年６月3日（Webハイブリッド開催）、テーマ：「植物起源揮発性有機化合（ BVOC）の大気への放出とその後」

③ メールニュースの発行

493号～502号まで10回発行（メール会員226人・令和6年5月29日現在）

9.4. 環境大気モニタリング分科会

１）年会分科会（第 53 回研究会）：令和５年９月 13 日（対面開催）

テーマ：「タイヤおよびタイヤ摩耗粉じん等の環境影響を探る」、講演３件、参加者 53 名

2）講演会（第 54 回研究会）：令和６年３月 15 日（対面及び Web 開催）

テーマ：「常時監視に関する最近の話題」（全国環境研協議会との共催）、講演３件、参加者 180 名

3）幹事会

令和５年 12 月８日：第 54 回研究会の企画、テーマ、構成について検討した。

令和６年４月 17 日：年会での分科会講演企画について検討した。

9.5. 健康影響分科会

１）年会分科会：令和５年９月 14 日（対面開催）

テーマ：「大気汚染の健康影響研究のための新たなアプローチ」、講演４件、参加者 21 名

9.6. モビリティ環境分科会

１）年会分科会：令和５年９月 13 日（対面開催）

テーマ「タイヤ・路面摩耗粉塵（Tire and Road Wear Particles）に関して」、講演３件、参加者 76 名。

9.7. 室内環境分科会

１）年会分科会：令和５年９月 13 日（産業技術総合研究所・対面開催）

テーマ：「室内空気の換気・清浄化技術およびその評価方法」講演３件、参加者 23 名

9.8. 放射性物質動態分科会

１）年会分科会：令和5年9月13日（第64回年会時）、大気モデリング分科会，放射性物質動態分科会，気候変動研究会合同分科会、テーマ「分科会交流から考える大気環境問題の予報・予測」、講演1件、日本原子力研究開発機構・寺田宏明氏「原子力緊急時対応のための放射性物質大気拡散予測システム」参加者約30名。

２）「東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能大気環境汚染―これまでとこれから―」を出版に向けて執筆中

9.9. 臭気環境分科会

１）年会分科会：令和５年９月 13 日（WEB ハイブリッド開催）テーマ「地方公共団体の施策と室内臭気の対策―つくば市の悪臭公害への取り組み及び喫煙室や作業環境における臭気等の対策事例―」、講演２件、参加者 21 名

9.10. 都市大気エアロゾル分科会

１）講演会開催、「植物起源揮発性有機化合物（BVOC）の大気への放出とその後」、令和６年６月３日（Web 開催と対面開催の併用）講演１件、参加者 70 名

9.11. 気候変動研究会

１）研究集会開催、「～アツアツの未来にどう適応？！～」、令和６年２月２日（Web 開催）講演４件、参加者 89 名

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第３項に規定する附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

令和６年８月

公益社団法人　大気環境学会